



## 背景・目的

- ・低炭素技術の開発及び普及は、国際交渉の進展や将来枠組みの合意に向けて不可欠である。また、各国の約束草案における削減目標と、世界全体の気温上昇を2度より十分下方におさえるとするパリ協定の目標にはギャップがあり、民間企業、自治体、NGOの取組等によりそれを埋めていく必要がある。
- ・低炭素技術の普及及び各主体による先進的な削減行動を推進するにあたり、先進国間で連携して情報交換を行うことが有益である。そこで互いに優れていると評価した相手国の技術や制度・取組については、自国への導入を進めていく。蓄積された知見を基に、技術の導入・管理までをパッケージ化し、アジア太平洋地域の開発途上国向けに展開していく。これにより、地球規模での温室効果ガスの排出削減を牽引する。

## 事業概要

- 先進国間での低炭素技術・制度等に係る連携協力の推進・検討（74百万円）
- ①低炭素技術及び普及政策が進んでいるドイツ、フランスとの間で、ワークショップ等を開催し、先進的な低炭素技術に係る情報共有及び評価等を行う。
- ②我が国が強みを有する技術・制度については相手国への導入を行う。他国の優れた取組については、国内の各主体による導入を促進、支援する。その知見を基に、アジア太平洋地域の途上国へ輸出可能な形に技術・制度の導入・管理までをパッケージ化したツールを作成する。

## 期待される効果

優れた低炭素技術の普及に力点を置く欧州各国との二国間及び多国間の政策対話等の協力を通じて知見を蓄積し、これらの技術をアジア太平洋地域、ひいては世界全体に普及し、世界の排出量削減及び環境・エネルギー分野の国際市場獲得に貢献する。

## 事業スキーム

委託対象：民間団体等

実施期間：平成28年度～

